



# さんない地域局 だより

No.28

令和5年  
1月15日号



あけましておめでとうございます\*



## 山内建設技能者組合 元気なふるさと秋田づくり顕彰 受賞

12月11日、令和4年度秋田県平鹿地域振興局「元気なふるさと秋田づくり」顕彰事業表彰式が行われ、振興局長から山内建設技能者組合に表彰状が授与されました。

この表彰は、よりよい地域をつくるため、地域固有の様々な課題の解決について、自発的・主体的な活動を行っている個人又は団体に贈られているもので、今年度は2個人2団体が受賞しました。

山内建設技能者組合は、昭和54年から毎年8月20日を奉仕活動の日と定め、山内地域の小・中学校など、公共施設・設備等の修繕作業ボランティアを継続して実施してきた功績が認められ、今回の受賞となりました。



## 数珠を回し無病息災を祈願 南郷三ツ屋地区で百万遍念仏講

200年以上の歴史がある伝統行事「百万遍念仏講」が1月9日、南郷の三ツ屋地区で行われました。地区住民17人が輪になって、タラの木でできた長さ約10メートルの数珠を回し、一年間の無病息災や家内安全を願いました。

参加した方々は「今年も笑顔でできたね」と嬉しそうに話していました。



## コミュニティ助成事業(宝くじ助成金)を活用 黒沢部落自治会が会館を整備

黒沢部落自治会では、コミュニティ助成事業を利用して、老朽化した自治会館を建替えし、新たな地域住民の交流の拠点となる会館を整備しました。コミュニティ助成事業は自治総合センターが宝くじ社会貢献広報事業としてコミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備など、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に行っているものです。

今後更なるコミュニティ活動の活性化と、災害時の避難場所としての機能が期待されます。

